

原発事故から3年・・・

今も続くフクシマの悲劇

講師 光陽生協クリニック院長 平野治和さん



《平野治和さんの略歴》

1952年、大野市・旧和泉村生まれ。1978年、金沢大学医学部卒業。現在、光陽生協クリニック院長。労働衛生コンサルタント。

チェルノブイリの視察にも参加し、3.11以後、全国で104回の講演。論文；「福島原発事故と子供の健康影響」他多数。著書；「原発銀座で輝け診療所」

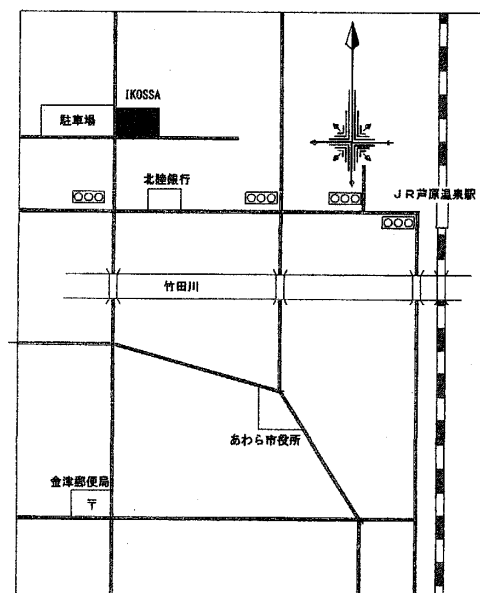
福島第1原発で、放射性物質に汚染された地下水が海に流出していますが、5月11,12両日に採取した海水の放射能濃度が5ヶ所の測定点で過去最高値を更新し、汚染の拡大が懸念されています。

原発事故から3年余が過ぎた今も、除染は遅々として進まず、多くの方は仮設住宅暮らし。国の基準以下であれば、農産物や水産物は本当に大丈夫なのか。子どもたちへの影響は？

フクシマの事故が収束していない中で、福井の原発を再稼働させると言う・・・同じような事故が起きたら、何処へどうやって避難したらよいのかも分か

好評であった一昨年に続く平野講演第2弾です。

ぜひ、お誘い合わせのうえご来場ください。



○日時 **6月7日** (土)午後 **7:00** より

○会場 **IKOSSA(金津図書館) 3階ホール**

あわら市春宮 2-14-1 TEL73-1065 参加費 500円

*駐車場がいっぱいの際は、金津神社境内に駐車してください。

主催 原発を考えるあわら市民の会 連絡先；中野 090-3292-9029